



はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区气象台

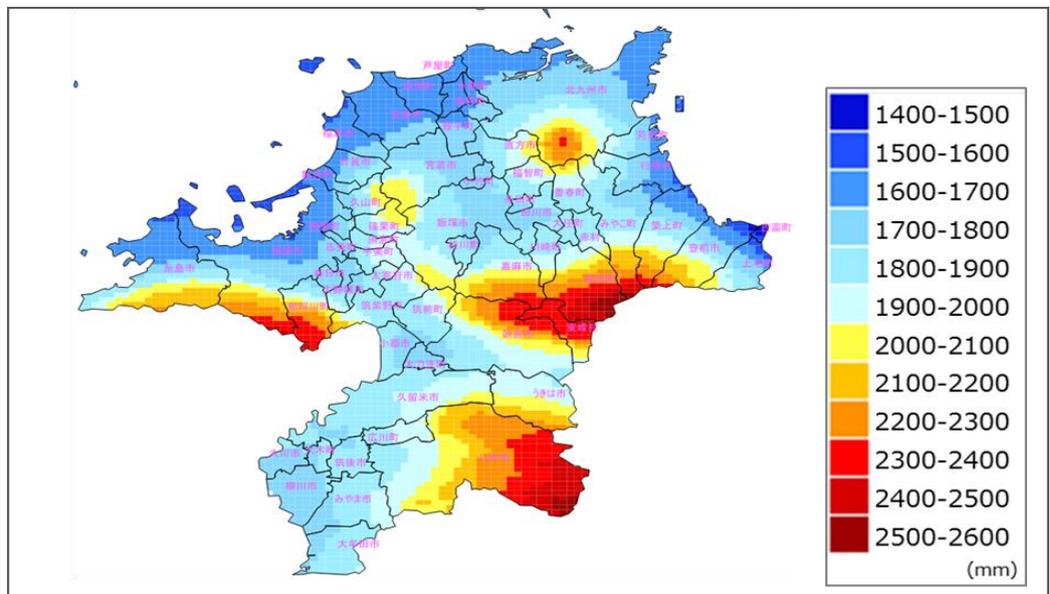
今月の素朴な疑問

雨の季節、気をつけることは？

もうすぐ雨の季節がやってきます。今回のはれるんマガジンでは、この季節に特に気をつけてもらいたいこと・覚えておいてもらいたいことをご紹介します。

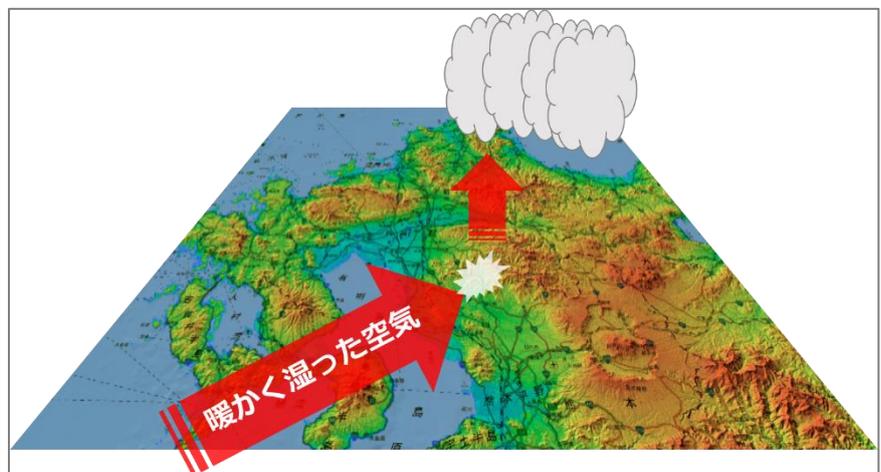
■福岡県の雨の特徴は？

福岡県が含まれる「九州北部地方」の梅雨入りの平年は6月4日ごろです。福岡県では梅雨の時期に年間降水量の約3～4割の雨がまとまって降る特徴があります。また、背振山（せふりさん）、英彦山（ひこさん）、耳納山（みのうさん）、筑肥山地（ちくひさんち）の付近などで大雨が発生しやすい傾向があります。これは、東シナ海から流入する暖かく湿った空気が山によって強制的に上昇させられることで、雨雲（積乱雲）が発生しやすくなるためです。



福岡県の年間雨量の分布図

ですが、近年温暖化等の影響で雨の降り方が変わってきています。どの場所でも災害を引き起こすような大雨が発生する可能性があります。油断は禁物です。



山によって雨雲が発生するイメージ

でも災害を引き起こすような大雨が発生する可能性があります。油断は禁物です。

■雨の季節に使ってほしい「キキクル」

大雨が降る時には気象台は注意報・警報を発表します。この注意報や警報は市町村毎に発表しますが、特に面積の広い市町村では「自分の町の中で本当に危険が迫っている場所はどこなのか?」となるかもしれません。そのような時に使ってほしいのが「キキクル(危険度分布)」です。キキクルは大雨による身の回りの危険度を地図上に5段階の色であらわす情報です。気象庁ホームページなどで見ることができます。

キキクルを使えば、身の回りの災害の危険度が高まっている場所が一目でわかります。まずはハザードマップで自宅や学校、職場までの道のりなどに災害の危険が隠れていないかを確認しておき、大雨になったらキキクルでその危険が迫っていないかを確認、危険な場合はすぐに(紫色の警戒レベル4までに)避難することが大切です。雨の日の朝、登校・通勤前に通学路・通勤路の危険度を確認するのもおすすめです。

雨の季節、ハザードマップやキキクルをうまく使って大雨による災害から身を守りましょう。

キキクルとは? ・リアルタイムの危険度を表示
 ・10分ごとに更新

・3つの災害の危険を
 土砂災害
 浸水害
 洪水災害

◎警戒レベルと取るべき行動
 5→命の危険 すぐに身を守って!
 4→危ない場所からみんな逃げる
 3→逃げる準備、お年寄りも逃げる
 2→逃げる方法を調べる

・5つの色で地図上に表示

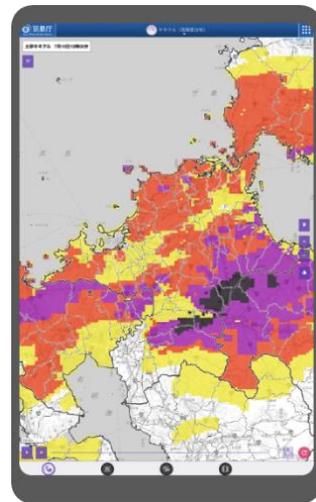
高	黒	災害切迫	警戒レベル5に相当する状況
危険度	紫	危険	(土砂・洪水) 警戒レベル4に相当する状況
	赤	警戒	(土砂・洪水) 警戒レベル3に相当する状況
	黄	注意	(土砂・洪水) 警戒レベル2に相当する状況
低	白	(色がついていなくても) 今後の情報などに留意	

キキクルの解説

最新のキキクル
 (気象庁ホームページ)



キキクル解説アニメ
 (佐賀地方気象台 YouTube)



キキクル表示イメージ

ご意見をお待ちしています

問合せ先
 〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36
 福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部
 電話：092-725-3614
 e-mail：fukuoka_bousaichosa@met.kishou.go.jp



次回の発行は2024年6月の予定です。